

高校日本史プリント（過去問類似）

日本史B（旧課程の過去問） No.7

名前

得点

/10

問1 鎌倉幕府の執権北条泰時が、京都の六波羅探題や御家人たちに基準を示すために1232年に制定した、武家社会の慣習法や道理に基づいた最初の武家法は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 武家諸法度 2. 大内氏掟書 3. 六角氏式目 4. 御成敗式目

問2 高度経済成長を遂げた日本は、1968年にその総額が資本主義国の中でアメリカに次ぐ世界第2位に達した。この、一国が一定期間に生み出した付加価値の総計を示す経済指標は何か。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 国民総生産 2. 国内総生産 3. 国民純生産 4. 国民総所得

問3 大正期から昭和初期にかけて、一般家庭への照明器具の急速な普及や工場の動力源の転換を支えた、従来の火力発電に代わって電力供給の主流となった発電方式は何か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 汽力発電 2. 水力発電 3. 火力発電 4. 揚水発電

問4 1892年の第2回衆議院議員総選挙において、警察や地方官を動員して民党の当選を阻む激しい選挙干渉を主導した、第1次松方正義内閣の内務大臣は誰か。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 後藤象二郎 2. 大久保利通 3. 西園寺公望 4. 品川弥二郎

問5 1428年に発生した最初の大規模な徳政一揆において、蜂起の直接的な契機となった、近江の坂本や大津などを拠点に馬を利用して物資を運んだ運送業者は何か。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 馬借 2. 問丸 3. 車借 4. 問屋

問6 江戸時代の農民の家族や生活に関して述べた次の文章中の空欄 [] に入る、夫から妻に渡された離縁状の俗称として最も適当な語句を答えよ。幕府や藩は農民の分家による田畑の細分化を防ぐため、分割相続を制限して単独相続を基本とした。こうした家制度が維持される一方で、庶民の間では離婚や再婚も行われており、離婚の際には夫から妻へ [] と呼ばれる書状が交付された。この書状は、妻が別の男性と再婚することを許可する法的な効力を持っていた。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 縁切寺 2. 五人組 3. 寺請状 4. 三行半

問7 江戸時代の農村などで広く組織された共同組織のうち、十干十二支の特定の日に、体内の虫が抜け出して天帝に個人の罪を告げるのを防ぐため、人々が集まって夜を徹して語り合い、健康や長寿を祈った信仰に基づく組織を何というか。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 大山講 2. 富士講 3. 庚申講 4. 伊勢講

問8 平安時代初期に編纂された説話集『日本霊異記』には、奈良時代の社会経済の実態を示す記述が見られる。同書には、平城京に位置するある大寺院の經典研究組織（修多羅分）の資金（錢）を民間人が借りて越前の敦賀で交易を行い、水運で物資を運ぼうとした話が記されている。この話に登場する、唐から帰国した僧の道慈が造営を指導したことで知られる寺院の名称を何というか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 東大寺 2. 大安寺 3. 興福寺 4. 薬師寺

問9 律令制下の官人給与制度において、官職に就いていることに対して支給される「職田」や、国家への特別な軍功などに対して支給される「功田」とは異なり、個人の位階の高さに応じて支給された土地を何というか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 位田 2. 神田 3. 職田 4. 功田

問10 1949年に発生した法隆寺金堂壁画の焼失を直接の契機として、翌1950年に制定された、有形・無形の文化財を総合的に保存・活用することを目的とした法律は何か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 理科教育振興法 2. 産業教育振興法 3. 文化財保護法 4. 学校図書館法

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 4 御成敗式目	北条泰時は、承久の乱後に複雑化した土地紛争などを公正に裁判するため、1232年に御成敗式目（貞永式目）を制定した。この法は京都の六波羅探題にも送られ、裁判の基準として活用された。
問2	答え 1 国民総生産	1960年代の高度経済成長により、日本の経済規模は急速に拡大した。1968年には国民総生産（GNP）が資本主義国の中でアメリカに次ぐ世界第2位となり、西ドイツを抜いて経済大国の地位を築いた。
問3	答え 2 水力発電	第一次世界大戦期から大正期にかけて、長距離高压送電技術の向上に伴い、従来の石炭を用いた火力発電に代わって水力発電が電力供給の主流（水主火従）となった。この安価で豊富な電力供給が、一般家庭への電灯の普及や産業の電化を大きく促した。
問4	答え 4 品川弥二郎	1892年の第2回衆議院議員総選挙において、第1次松方正義内閣の内務大臣であった品川弥二郎は、民党の進出を阻むために警察や地方官を動員した激しい選挙干渉を主導した。この干渉により多数の死傷者が発生し、世論の激しい非難を浴びた品川はのちに辞職に追い込まれた。
問5	答え 1 馬借	室町時代に馬を利用して物資の輸送を行った運送業者は馬借と呼ばれる。1428年の土一揆（正長の土一揆）は、近江の馬借の蜂起が契機となって京都や周辺地域へと拡大した。
問6	答え 4 三行半	江戸時代の農民の間では、田畑の細分化を防ぐために分割相続が制限され、家督とともに一子に単独相続させることが基本となった。一方で、庶民の婚姻関係においては離婚や再婚が比較的柔軟に行われており、離婚の際には夫から妻へ「三行半」と呼ばれる離縁状（離婚状）が渡された。これは、妻が他家へ再婚することを許可する法的な証明書としての役割を果たしており、これを持たずに再婚することは不義理（密通）として処罰の対象となった。
問7	答え 3 庚申講	江戸時代の農村では、村落内の結びつきを強めるため、様々な共同組織がつくられた。その中には、特定の神仏や信仰を共にする「庚申講」や「伊勢講」などの信仰組織があり、農民たちの社交や娯楽の場としても機能した。これは、十干十二支の庚申（こうしん）の日に、体内の三尸（さんし）の虫が天帝に悪事を報告するのを防ぐため、夜を徹して眠らずに過ごす信仰から生まれた共同組織である。
問8	答え 2 大安寺	『日本霊異記』に登場する、経典研究組織（修多羅分）の資金を民間人に貸し出していた寺院は大安寺である。大安寺は舒明天皇が建立した百濟大寺を起源とし、平城京遷都に伴って移転・改称された大官大寺の後身であり、入唐留学僧の道慈がその造営を主導した。史料からは、こうした大寺院の資金が民間の商業活動の元手として活用されていた実態がうかがえる。
問9	答え 1 位田	律令制下の土地支給制度において、官職に伴う「職田」や、勲功に対する「功田」とは区別され、個人の位階（五位以上）に基づいて支給された土地である。この土地は、職田が不輸租（免税）であったのに対し、原則として輸租（課税）の対象であった。
問10	答え 3 文化財保護法	1949年の法隆寺金堂壁画の焼失は、日本の文化財保護政策に大きな衝撃を与えた。これを契機として、従来の国宝保存法や史蹟名勝天然紀念物保存法などを統合・発展させる形で、1950年に文化財保護法が制定された。この法律により、有形文化財だけでなく無形文化財や民俗資料なども保護の対象となった。